

会津棚田米応援セットの企画及び高校生の田植え体験について

1 概要

棚田地域は農産物の供給の他、自然環境の保全、良好な景観の形成、伝統文化の継承等の多面的な機能を持っていますが、その維持には地形的条件から高いコストを要するのが実情であり、荒廃の危機に直面しています。

貴重な財産である棚田を保全するために令和元年に棚田地域振興法が制定され、会津地方では同法による振興地域指定を受けた4つの棚田地域の他、複数の地域で棚田の振興活動に取り組んでいます。

令和7年度はこれらの地域のうち「川前の棚田」（北塩原村大塩）、「こづちやま棚田」（喜多方市高郷町）、「ほんそんの棚田」（喜多方市高郷町）の3か所で、棚田を広く知ってもらうため、それぞれの棚田で収穫したお米の「応援セット」の販売を企画しました。今年度は「上堰棚田」（喜多方市山都町）を加えて4か所で同企画を行います。

また、若い人達にも棚田に興味を持ってもらうため、今年度もまた応援セットのラベルデザインを会津若松ザベリオ学園高等学校の生徒が担当します。

今回はこのラベルデザインのイメージを持ってもらうため、ザベリオ学園高等学校の生徒35名が、「川前」の棚田で田植え体験を行います。

2 日時・場所

(1) 日時：令和8年5月27日（水）13:00～13:30（雨天決行）

(2) 場所：北塩原村大字大塩字長坂
別添の地図参照

3 参加人数

- (1) 会津若松ザベリオ学園高等学校 1年生 35名 及び教師等学校関係者
(2) 株式会社あいばせ社員5名、近隣の農家の方2～3名

4 その他・取材時のお願いなど

取材にお越しいただける場合、水田の近くには適当な駐車スペースはありません。営農活動や地域の生活の支障にならないよう、ご留意願います。

なお、田植え予定地から約500mの場所には、北塩原生涯学習センターがあり、駐車が可能となっています。

【問い合わせ先】 福島県会津農林事務所企画部

担当 企画部長 佐藤

電話 0242 (29) 5319

FAX 0242 (29) 5389